

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		第 7 光陽					公表日 2025年12月1日	
		利用児童数 36名（兄弟利用1家族含む）					回収数 35名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	1	0	2		います。OPEN光陽で活動を参観していただく機会を設けています。同時に建物・活動の部屋も見学して頂いています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	5		放課後等デイサービスの職員配置基準はご利用者 5 人に 1 人の有資格者職員を配置することが義務付けされています。当方では、利用人数に合わせて保育士、教員、介護福祉士等の有資格者を人員基準に沿って配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	1	0	2		事業所設備は設置基準に沿っています。バリアフリー対応でエレベーターを設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1	0	1		年 2 回清掃業者による清掃を実施しています。日々の清掃や整理整頓、部屋の中になるべく物を置かないようにするなど創意工夫をして過ごしやすい空間を保てるように努めています。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	2	0	1	・ 子供本人から子供と先生のやり取りの様子について何も発せられないので、よく分かりません。 ・ 十分理解することは難しいし、個別の対応になってしまう。そこまでの支援は望んでいません。	保護者様との面談等でいただいた情報や日々の支援の様子から一人ひとりにあった支援が出来るよう努めています。また、ご利用者様に対する専門性を高めるため月 1 回以上、事業所ごとに勉強会を実施しスキルアップに努めています。一方で、個別時間以外の対応について、個々に対応することに限界があることも事実です。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	0	0	0		5 領域に沿った基本となるプログラムを公表しています。毎月のプログラムは、季節に応じたものから、継続して取り組むものと、興味関心を引き出す新しいものになるように努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	2	0	0		個別支援計画作成には保護者様とアセスメント面談を実施し、お子様の現状や保護者様のご要望を伺う機会を設け、その上で個別支援計画の作成をしています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	0	0	2	・ 子供本人から子供と先生のやり取りの様子について何も発せられないので、よく分かりません。	アセスメント懇談で聞き取ったニーズを記載しています。そのための必要な支援内容がそれぞれに提供できるように、また対面での面談には十分な時間をとりご説明が出来るようにしています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	0	0	1		個別支援計画にそった支援となるよう職員間で計画を常に確認して必要な支援が出来るよう努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	0	0	0	・ 他の事業所にはない活動が多く、より良い経験ができています。	毎月のプログラムを保護者様及びご本人に携帯から見て頂けます。継続が必要な活動と興味関心を引き出す新しい活動を適時組み合わせるようにしています。プログラムは3ヶ月に 1 度見直しを実施しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	1	1	17	・ 子供本人から子供と先生のやり取りの様子について何も発せられないので、よく分かりません。	同建物内には、学童クラブや体操教室、企業が入っており、日々の中で障害のない子供たちとの関りや社会との繋がりを経験していただいています。学童クラブとは活動を一緒に行う等交流会を持っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	0	0		初回の面談時に、5 領域に沿ったプログラムをお見せし、療育の目的や内容を中心にお話をしています。さらに契約時に、利用契約書、運営規定で事業所の概要を説明し、重要事項説明書では具体的な負担額等をお伝えしています。参加費等については、毎月の活動表に記載してお知らせしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	0		支援内容については、個別支援計画の懇談を行い、同意を得ています。

保 護 者 へ の 説 明 等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	1	0	2	・会長の勉強会で新しい制度等教えていただきありがとうございます。	法人及び事業所にて保護者様のみでなくご本人の支援に携わる方々が参加できる勉強会を設けています。また、親の会を通じて情報提供を図ったり、LINE配信等でも随時必要な情報が届くよう努めています。 また、OPEN光陽を開催し、実際に子供の様子を見ていただき、発達段階に応じた対応のヒントを知ってもらうことでお子さんの成長を支える協働体制を築いています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	3	1	0		保護者様にはメールにてご連絡を頂いた場合、本人様の様子を付け加え返信しています。メールでタイムラグがなくやり取りが出来るように工夫しています。もちろん保護者様からの電話にも対応しています。Instagram等での情報発信にも力を入れています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	2	0	0	・少し多すぎると思います。2回位減らしてもらえると助かります。 通所時のノートを再開してほしい。 その都度書いたほうが伝えやすい。	放課後等デイサービスには、個別支援計画の作成が義務付けられています。個別支援計画を作成するために、ニーズ把握のアセスメント面談が1回、その上で作成された個別支援計画を確認していただく面談が1回、半年ごとに見直しが必須でそのためのアセスメント面談が1回、見直し後の支援計画を確認していただく面談が1回で年間4回です。保護者様にはご負担をおかけしますが、法制度で定められている最低限の面談です。 連絡ノートについては、法人設立以来16年間続けてきましたが、事業所からの一方的な報告となり、概ね、お返事を頂けない状況が続きました。保護者様の「忙しい」が優先される時代。さらには福祉従事者の働き方改革の時代。見直し廃止しました。 ご理解・ご協力をお願いいたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	0	2	1		ご利用者様の気持ちを汲み取りながらの支援ができる体制をとっています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	0	10		法人に親の会があり、役員の方々と法人代表と2か月ごとに会議を行い、自発的な運営が出来るよう協力体制をとっています。親の会では保護者同士、家族の交流会としてランチ会や座談会を企画されています。 また、親の会らわずで年4回の勉強会を計画し、今年度は5/31（土）、9/20（土）に勉強会を実施しました。法人代表が講師を担当するなど親の会の運営を支援させて頂いています。親の会の案内、親の会の講義内容の通釈などもラインにて展開しています。今一度、配信記録の確認をお願いします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	0	0	3	・送迎時や面談時に説明があります。	相談等のご希望があった場合には第一優先で対応するよう努めています。相談内容によっては、すぐお答えできない事もあります。そういった場合は、上席者に相談もしくは、専門家にアドバイス等を聞き、保護者様へ必ずお伝えするようにしています。必要に応じて家庭訪問も実施します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	2	1	0	・日々の様子が全く分かりません。	正しく伝え、正しい情報を得るために必要に応じて面談を実施し、対面で話が出来よう心掛けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	0	0	1	・見ていないので分かりません。	InstagramやFacebookにて活動の様子を毎日配信しています。また、LINE等のツールを用いて行事予定等のお知らせも随時しています。 事業所評価の集計結果は、年2回、6月・12月にホームページで公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	3		鍵付きの書庫を使い、個人情報に記載されている書類を整理しています。 また、写真等の取り扱いについては同意書にて同意を得ています。職員間でも個人情報の取り扱いには十分注意して気をつけています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	0	0	0		各種マニュアルについては、対面での懇談時に、作成したマニュアルの説明をしています。各種作成されたマニュアルを基に毎月様々な訓練を実施しています。Instagram、Facebookで周知を図っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	2	0	1	・面談時に説明がありました。	防火管理者を中心に6.12月の年2回の訓練を実施しています。消防署員の方に来ていただき消火訓練や人命救助訓練等を実施しています。各地で地震災害等があった場合は、危機管理意識を高める為抜き打ちで火災や地震を想定した避難訓練を実施をしています。Instagram、Facebookで訓練の様子を発信しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	0	0	3		法定研修・訓練を行い、職員の安全管理に対する意識を高めて、子供たちの支援をしています。災害時には、法人独自でライフラインが停止した場合に備え、飲料水、食料等の備蓄をしています。SNSを通して周知を図っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	0	0	3		事故等が発生した際は、保護者様及びご家族様に速やかに電話連絡をし状況の説明をさせていただいております。その上でお迎えや送迎時に直接お会いしてお伝えしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	3	0	1		子供たちが過ごしやすい空間、環境作りに努めています。苦手を克服し、安心で楽しい場所になるよう創意工夫ある支援が出来るよう努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	5	0	1	・喜んで通っています。 ・活動内容によりますが、最近は「行きたくない」ということが多いです。	協調性、社会性を見据えたプログラム、個々の課題に向き合うプログラム等、将来に向けて色々な活動を考えています。苦手なプログラムも「やってみよう」とチャレンジできる様、保護者様の協力をいただきながら取り組んでいきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1	0	0	・いつも希望を聞いていただきありがとうございます。	保護者様のご要望や困りごとに速やかな対応を心掛け、満足度の向上に努めています。当日でも利用定員に空きがあれば利用の追加が可能です。当日の利用人数はホームページ上でご確認していただけます。福祉従事者の成り手が年々減っています。若者に福祉従事者にはたくさんの感動と喜びがあることを伝えていきたいと思っています。ご理解ご協力お願い申し上げます